

2009 年度第3四半期決算説明会 質疑応答

Q 2009 年度の連結営業利益見通しは 52 億円ですが、第3四半期時点で 53.5 億円と見通しを上回っています。第4四半期での特別な費用投下があるのでしょうか。

A 前期は4年に一度のサッカーイベント「UEFA EURO 2008™ サッカー欧州選手権」等、ビッグイベントが上期に集中したため、番組費などが上期偏重となりました。しかし当期は、例年通り番組費を中心に下期偏重の費用投下となります。今期の、第4四半期では「ドラマW」等の放送本数を増やす等、一層の番組強化を行います。また、デジタル移行促進等の費用を見込んでいるため、例年とは費用構造も変化しています。現時点では、計画通りに進行しています。

Q 2011 年度以降の具体的な業績見通しはいつ頃発表されるのでしょうか。

A 現在、2010 年度事業計画の策定を行っております。策定にあたり、2011 年度以降の土台となる要素、特にアナログ停波による影響や、3ch放送への準備等については慎重に検討を進めています。また、それに併せて 2011 年度以降の戦略等の検討も進めています。具体的な数値についてはもうしばらくお待ちください。

Q 3D(3次元)放送について、現段階ではどのように考えていますか。放送するための条件(制作費、TVの普及)などがあれば、教えてください。

A 3Dについては、大変興味があります。2009 年 10 月に開催したオリジナルイベント「WOW FES！」で、松任谷由実さんのコンサートの一部の模様を3Dで再現しました。まずは、3Dの魅力を伝えられるようなコンテンツ制作の検討をしたいと考えています。しかし、すぐに放送というのは難しいと思っておりますが、積極的にあらゆる可能性を模索していきたいと考えています。

Q

2010 年度事業計画策定をする上で、来年度の番組費はどのように考えていますか。

A

番組強化という方針は変えていません。特にオリジナルコンテンツに注力していきますが、一方、番組費については売上高に占める一定の割合をキャップとし、売上高に応じた相応の利益は確保していきたいと考えております。

2011 年度以降に向け、あらゆる費用を見直していく必要があると考えています。その上で、番組費やアナログ停波への対策費など、将来に必要なものについて、相応の費用投下をしていきます。

Q

デジタル移行促進を強化するタイミングはいつ頃ですか。

A

2011 年に入ってからでは、遅いと考えています。2010 年中に強力に推し進めていきます。

以上